

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 看護学分野						
教育プログラム・コース名	がん看護CNSコース(正規課程)						
対象職種・分野	看護師・がん看護CNSコースに在籍している大学院生						
修業年限(期間)	2年						
養成すべき人材像	がん看護専門看護師として、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族、医療従事者等に対して質の高い看護を提供する為に必要な専門的知識、技術、態度を修得することが出来る人材を養成する。						
修了要件・履修方法	必修専門科目26単位、コース共通科目A 8単位以上、コース共通科目B 6単位以上、合計40単位以上を履修し、研究の最終試験に合格すること。						
履修科目等	【専門科目:26単位】高度実践がん看護学講義Ⅰがんに関する病態生理学(2単位)、高度実践がん看護学講義Ⅱがんに関する理論(2単位)、高度実践がん看護学講義Ⅲがんに関する看護援助論(2単位)、高度実践がん看護学講義Ⅳがん薬物療法看護(2単位)、高度実践がん看護学講義Ⅴ緩和ケア(2単位)、高度実践がん看護学演習Ⅰがん薬物療法看護(2単位)、高度実践がん看護学演習Ⅱ緩和ケア(2単位)、高度実践がん看護学実習Ⅰがん診断と治療実習(2単位)、高度実践がん看護学実習Ⅱ専門看護師役割実習、高度実践がん看護学実習Ⅲ緩和ケア実習(4単位)、【コース共通A:8単位】看護研究(2単位)、看護看護教育論(2単位)、看護管理論(2単位)、看護倫理学(2単位)、看護政策論(2単位)、看護コンサルテーション論(2単位)【コース共通:6単位】高度実践フィジカルアセスメント論(2単位)、高度実践病態生理学(2単位)、高度実践臨床薬理学(2単位)						
がんに関する専門資格との連携	がん看護、精神看護、在宅看護、感染管理・感染看護の専門看護師教育課程として日本看護系大学協議会により認定されている。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	がん看護、精神看護、在宅看護、感染管理・感染看護の4専門看護師教育課程が設置されている。他分野の院生と学修する機会が多く、広い知識を獲得することが出来る。更に、働きながら学修出来る様に支援している点も本学の特色である。						
指導体制	高度医療福祉専門職の人材を育成する為に4研究科、8専攻、多くの分野・コースを有する。看護学分野の教員のみならず、医師、薬剤師等様々な専門職により高度な教育を提供出来る。また、関連医療施設も複数あり、臨地での指導体制も構築されている。						
修了者の進路・キャリアパス	修士課程修了後、日本看護協会のがん専門看護師試験に合格し、各地域においてがん看護専門看護師としてがんの個別化医療を支える人材として活躍することが出来る。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	3	3	3	3	3	15
受入目標人数設定の考え方・根拠	過去の志願者数から受け入れ人数を3人とした。						
履修者数 <small>※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0						0